

組織としての文書番号を付していなければ空欄で

令和 年 月 日

文化庁長官 殿

代表者氏名を記載してください。

団体名 △△寺魅力発信プロジェクト協議会
 住所 ○○県○○市○○町3-2
 代表者職名 会長
 代表者氏名 ○○ ○○

令和3年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業（文化資源活用事業費補助金） 交付要望書

令和3年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	国宝「○○○○立像」ほかVR技術等を活用した魅力発信事業	
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 令和3年 ○ 月 1 日 完了 令和4年 3 月 31 日	様式1-4 収支予算書の交付要望額と同額。千円未満は申請できませんので自己負担額等で負担し
補助金の交付要望額	(補助対象経費 円 の %)	

(ふりがな)	
担当者氏名	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡がつく電話番号を記載してください。
所属	
連絡先 (TEL)	
" (FAX)	
" (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他 (日中連絡先)	

<令和3年度事業計画書>

事業の名称	国宝「〇〇〇〇立像」ほかVR技術等を活用した魅力発信事業		
実施主体の名称	△△寺魅力発信プロジェクト協議会 (宗教法人△△寺)	種別	協議会・個人・地方公共団体 その他()
財政規模を示す指数	協議会、個人:事業規模指数 地方公共団体:事業規模指数を記	DMO の参画	有 (団体名:一般社団法人●●●●観光推進機構) (本事業への関与:制作したコンテンツにかか る観光プロモーションなど) ・ 無
文化財保存地域活用計画等の 有無 (文化財保存活用大綱、文化財保存活用 地域計画、歴史文化基本構想又は歴史的 風致維持向上計画)	有・無	〇〇市歴史文化基本構想(平成△年策定) 〇〇市歴史的風致維持向上計画(平成△年認定) 国宝〇〇〇〇 保存活用計画(令和〇年)	

全体計画の概要	制作するコンテンツ等の概要について記載する。		
<p>宗教法人△△△△寺は、平安末期の彫刻様式を示す観音菩薩像で、●●の地において藤原三代による寺院造営にたざざった仏師の手になるとされ代々伝わっている国宝「〇〇〇〇立像15軀」を所有している。また、重要文化財「△△△△4双」や庭園は特別名勝「□□□□庭園」に指定されている。近年訪日外国人観光客が多く訪問している中で、8体の修理を行っており観覧してもらうことができないが、VR技術により所有する国宝「〇〇〇〇立像」全てをシアター用のコンテンツを制作し公開する。</p> <p>あわせて特別名勝□□□□の奈良時代当時の様子を再現できるようにAR技術を活用しスマートフォンで確認できるようなアプリを制作する。さらに絵画である重要文化財「△△△△4双」の高精細複製品を作成し触れてたり記念撮影ができる施設を作成し、訪日外国人観光客が楽しめるような取組を行う。</p>			
当該年度に、連携して実施する観光旅客税事業	<p>(事業名:事業年度) ・国宝「〇〇〇〇立像15軀」磨き上げ事業、令和3年度 (事業概要) ・本事業により、埃・塵の除去及び変色箇所の修整を行い、仏像本来の美しさを取り戻し、外国人拝観者の鑑賞に資するものである。</p>		
文化観光推進法認定を受けた拠点計画又は地域計画に基づく事業又は当該事業と連携して実施することを計画している事業	<p>(拠点計画及び地域計画名称:認定年月日) 該当なし (当該計画における本事業の関連部分を記載)</p>		
活用する先端技術①		①で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
VR技術		国宝「〇〇〇〇立像15軀」 所有者:宗教法人△△寺	
事業概要①	<p>修理中の国宝〇〇〇〇についてVR技術を活用して紹介する映像を作成し、調査研究に基づいた仏像内部の状況を紹介します。制作当時の時代背景も含めた日本文化の発信コンテンツ</p> <p>国指定等文化財ごとにどのような先端技術を活用するか概要を記載</p>		
活用する先端技術②		②で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
高精細複製技術		重要文化財「△△△△4双」 所有者:宗教法人△△寺	
事業概要②	<p>第二次世界大戦中に消失した一部の絵画も含め前15双そろった高精細複製品を作成し××堂において展示し、写真撮影スポットとして常時公開する。</p>		
活用する先端技術③		③で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
VR技術		特別名勝「□□□□庭園」 所有者:宗教法人△△寺	
事業概要③	<p>××文献に基づき特別名勝□□□□庭園において新年に毎年開催されていた△△宴を行っている様子をVRシアターで解説するコンテンツを制作し日本の文化の■■行事の起源について理解してもらう。</p>		
<p>※ 3つを超える場合は、行を追加してください。</p> <p>事業概要、具体的な指標及び目標値の各欄で3つを超える場合は、適宜行追加してください。</p>			
時代考証の実施体制			
〇〇県歴史民俗博物館学芸員、〇×大学人文学部教授より監修を受け解説部分の作成を行う体制をとっている。			

具体的な指標及び目標値		目標値の計測方法	R1 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	R8
指標・目標値①	本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客数【必須】	入場券販売の際に確認	37,000人	45,000人	50,000人	53,000人	56,000人	60,000人	
指標・目標値②	本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客の満足度(アンケート調査)【必須】	祝祭日20日間でアンケート調査を実施	68%	70%	75%	申請年の前年実績を基準として、事業終了から4年間で想定される目標値を記入してください。			
指標・目標値③	本事業で発信した国指定等文化財への年間入場料収入額 (千円)	収支決算書	1,530	1,600	1,650				

<収支予算書>

区分		金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0	0	
	その他収入	0		様式1-6(⑧特別料金の徴収等について)にのみ記入
	小計(A)	0		交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担に入れてください。この値は1枚目の補助金交付要望額と同じになります。
	自己負担金(B)	23,455,000		
	本事業による補助金の交付要望額(C)	23,455,000		同額になるようにしてください。
①収入合計(A)+(B)+(C)		46,910,000	0	同額になるようにしてください。

区分		総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	46,910,000	23,455,000	23,455,000
	主たる経費	46,910,000	23,455,000	23,455,000
	賃金	84,000	42,000	42,000
	共済費	0	0	0
	報償費	100,000	50,000	50,000
	旅費	10,500,000	5,250,000	5,250,000
	使用料及び賃料	90,000	45,000	45,000
	役務費	0	0	0
	委託費	33,500,000	16,750,000	16,750,000
	請負費	2,450,000	1,225,000	1,225,000
	備品購入費	0	0	0
	原材料費	0	0	0
	需用費	186,000	93,000	93,000

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
国宝「○○ ○○立像15 軀」VR解説シ アターコンテ ンツ制作	【報償費】 企画会議有識者 10,000円×委員5名 50,000円(報償費内訳①) 【旅費】 VRシアター現地調査 一式 5,500,000円(旅費内訳①-1) 企画会議旅費 500,000円(旅費内訳①-2) 【委託費】 VRシアター制作委託 一式(見積番号①) 15,000,000円 【需用費】 消耗品費 50,000円(見積番号②)	21,100,000	10,550,000	10,550,000
重要文化財 「△△△△4 双」高精細レ プリカ制作事 業	【旅費】 重要文化財「△△△△4双」の文献調査一式 3,500,000円(旅費内訳②-1) 検討会有識者 500,000円(旅費内訳②-2) 【委託費】 高精細複製品制作委託 一式(見積番号③) 10,000,000円 【請負費】 会場警備・運営管理業務請負 一式 2,450,000円(見積番号④) 【需用費】 消耗品費 50,000円(見積番号⑤)	16,500,000	8,250,000	8,250,000
特別名勝「□ □□庭園」 往時の風景再 現	【賃金】 運営スタッフ 1,400円×60人/日 =84,000円 【旅費】 運営スタッフ旅費 500,000円(旅費内訳③) 【使用料】 打合せ会議 15,000円×6回=90,000円 【委託費】 アプリ制作委託 一式(見積番号⑥) 8,500,000円 【需用費】 消耗品費 86,000円(見積番号⑦)	9,260,000	4,630,000	4,630,000
合 計		46,860,000	23,430,000	23,430,000

費目ごとの執行内容が具体的に分かるよう、任意様式の別紙の内訳書を添付してください(報償費と旅費)。

様式1-3の事業概要①②③の事業ごとに経費の内訳を記入してください。3つ以上制作する場合は、行を追加してください。

※ 課税対象経費については、消費税率10%として記載すること。

※ 3つを超えて作る場合は、行を追加して制作するコンテンツごとの内訳を記載してください。